

第5章 下関市総合交通戦略の方向性

(1) 交通体系の基本理念・基本方針、施策展開の方向性

本市の交通体系の基本理念とそれらを実現するための基本方針、施策展開の方向性（目標）を以下のように設定します。



(2) 下関市の将来交通体系

施策展開の方向性を踏まえ、目指す将来の交通体系を以下のように設定します。

施策展開の方向性（目標）

I. 鉄道・バスを軸とした公共交通ネットワークの構築

- 「コンパクト+ネットワーク」の考え方にに基づき、市内の公共交通網の見直しや結節点強化を図ることで、下関駅、新下関駅や市内の地域拠点・生活拠点間を連絡し、市内各地域間を移動できる持続可能な公共交通軸を形成します。
- 「市の中心的役割を担う都市拠点」と「固有の拠点機能を有する生活拠点」を結ぶ公共交通軸を主要幹線軸とし、より利便性の高いサービスを提供します。
- 「一定の都市機能を担う地域の核となる地域拠点」を結ぶ公共交通軸を幹線軸とし、移動手段確保のためのサービスを維持します。

II. 市民の暮らしを支える生活交通体系の構築

- 通勤や通学、通院、買い物といった日常的な活動が行えるよう、公共交通軸を補完する交通環境を形成します。
- 持続可能な生活交通体系を構築するために、地域特性や利用者の需要に応じた交通サービスを提供します。

III. みんなが安全・安心かつ快適に外出できる交通環境の形成

- 鉄道やバス、自転車等さまざまな交通手段で安心して移動できる交通環境を形成します。
- 市内の公共交通についてICTの活用や利用者負担の軽減等により、利便性の高い交通サービスを提供します。
- 観光客など市外からの来訪者にも積極的に公共交通を利用してもらえるような取り組みを実施します。

IV. 自動車依存から公共交通利用への転換を図るための活動の実施

- 過度な自動車依存の状況から脱却するために、自動車以外の移動手段を選択する意識を醸成し、人にも環境にもやさしいまちを形成します。
- 移動に関するルールやマナーを守り、安全かつ安心して外出できる環境を形成します。

将来の交通体系

